

Captain Vali





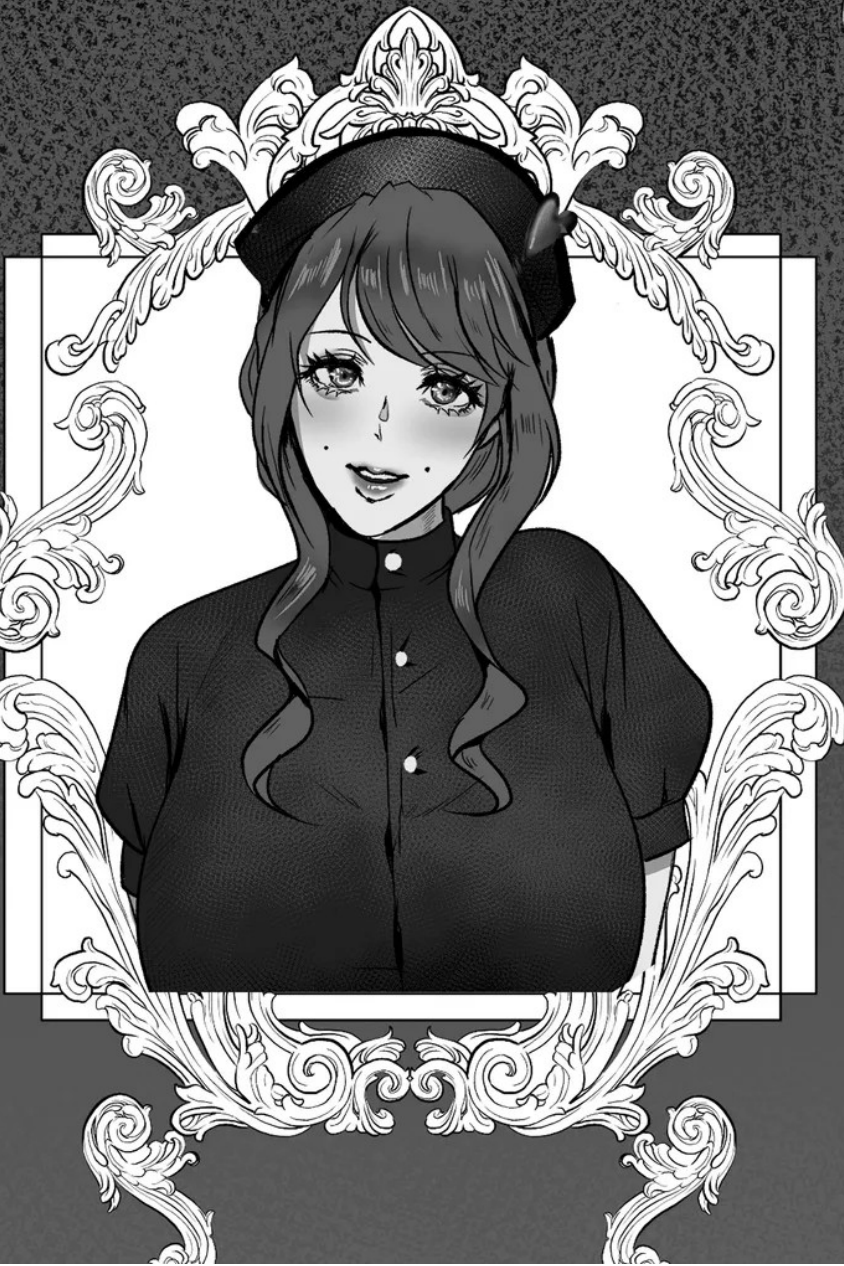
—ヴァーリ—

治安の終わっている町で
産み落とされた
親を知らない男
だが平和を望み、弱きを
助ける正義に満ちた
心を失わなかった
血の滲む努力で今の立場に
のしあがった
エルが大好きで大切
童貞。



—エル—

ヴァーリと同じ教会で
育った元孤児
壮絶な過去もヴァーリと
乗り越え
看護師となった
兵士達にも大人気
の医療班のマドンナ



ヴァーリ様〜！
おかえりなさいませ〜！

こっち見て
くださーい♥

ただいま

ひゅ

♡

ヴァーリたいちよー！

これみてー！

こらー！
ヴァーリ様に気軽に
話かけちゃ失礼でしょ！





嬉しいよ
俺の宝物にする

うん!

これは…俺を
描いてくれたのか?

プレゼント
描いた!



うん! わかった!

お母さんに
心配かけないよう
次から気を付けること

でも、馬の近くに
走ってくるのは
危ないんだ



共に訓練ができる日を
楽しみにしているよ

そうか!
それは楽しみだな

俺ね大人になったら
ヴァーリ兵長みたい
になるんだ!

魔物を剣で倒す!
おりやっやって!

この城直属の
魔物討伐隊の
隊長になってから

約3年

生傷は絶えないが
食事に困ることはなく

昔とは
比べられないほど
贅沢に暮らしている

隊長また
稽古お願いします！
ありがとうございます！
ございました！

ああ、時間のある時は
いつでも相手しよう

ただど…
何もかもが
上手くいつているか
と言われたら

二二

やだあ？
ウソでしょ？

気になることはある

あっ！

よ

ヴァン、
おかえりなさいっ

無事でよかった！

彼女と同じ孤児院で
育った幼馴染のエル

かれこれ10年以上は
一緒にいる仲

今は同じ城の中で
医療班に所属している

あれ？帰宅早々
稽古してた？！

ああ、時間は
無駄にできない
からな

短い言葉では
語りつくせない
経験を共にしてきた

彼女は俺にとって
唯一無二の存在だ

もう働きすぎ

大したことない
動けるうちに
働かねば

そして昔から
ずっと変わらず
俺は好意を寄せている

気持ちを伝えた
ことはないが

エルはずっと
俺の帰る国で
待っていてくれる

特別口に出して
言わなくても
通じ合っているはずだ

ねえ

体、凝ってる
んじゃない？

手、貸して？

ほら…
すごい硬いもん

岩みたい

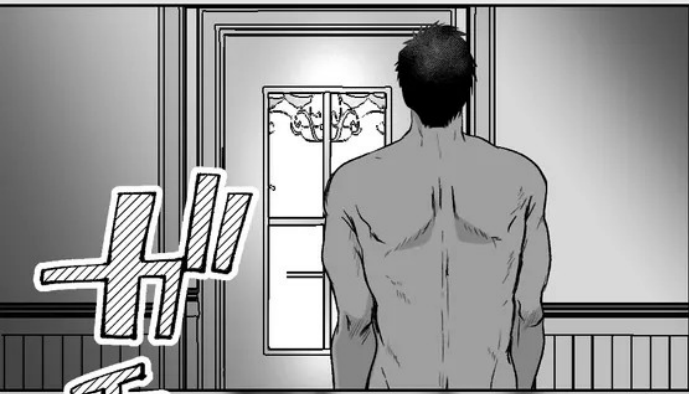
むに

むに

今回もする？

あ、ああ
よろしく頼む





ガ
キ
ヤ

準備できたよ
どーぞ！



うわ
いつも以上に
ガッチガチに
なってるね

傷も増えちゃってる

大したことないさ
昔の体罰に比べたら



心配なんだよ
いつもいつも。

全然休んで
くれないんだから

死なないでね

やらなければ
ならないことが
まだ山のようにある

こんなところで
死なないさ



昔からの習慣の
ような感じで

エルは俺の体を
マッサージしてくれる

きっと俺の体の
筋肉の状態を
一番知っている

私ね新しい
魔術覚えたの

すっごい
実用性のあるやつ

どんな？

彼女は努力家で
優しい人間だ

愛想がよくて
見た目も
可愛らしい

だから...
男たちから
人気がありすぎて
少し心配だ

うふふ
今見せてもいい？

ああ、是非

よし、いっくよ



じゃーん、どろろ？

分身魔法！

おお・・・
すごいな
分身術はかなり
高度な魔法だろう

頑張ったもん♥
まだ完璧じゃないんだけど
これで手が
四本になるから

もーっと
マツサージ効果的に
できるようになったの



ね？

きもちい？
どう？



なんだか
妙な感じだな。

あ……ああ
きもちいい

他背中揉んで
ほしいところは？

いや、だいぶ
楽になった
ありがとう

じゃあ次
仰向けに
なつて

わ



エル...?
こ、これは...

ん?何?



頭に柔らかいものが...

う...上の
分身をといてくれ

気にしなくて
いいよ

気になる...

分身は
まだ喋らせられないから
ただの人形と思って

しゅみ♡

しゅみ

しゅみ

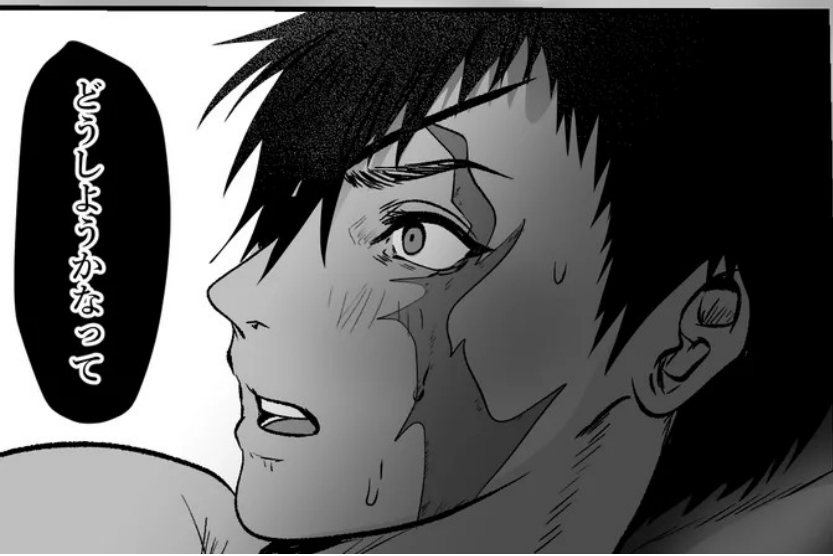
しゅみ

そんなこと
言われても……
完全にエルだし

匂いも、温もりも
肌を伝わってくる

ずし
ずし

雑念を消せ……。俺



本当は…ずっと
大好きな人が
いるんだけどね

彼は
あまりにも責任感が
強くて、休んでって
言っても聞かないし

仕事で忙しくて
会えるのは
毎月何回か…

仕方ないけど
私…寂しくて

もうその人
待つのをやめても
いいかな

え…その…
大好きな人というのは…

今日の前で
顔を真っ赤にしてる
隊長のことなんですけど

ま・まっつけてくれ・
そうゆう話は・その・

こんな密着した
状態ではなく・

またすぐ遠征に
行くんでしょう？

会える時間に
触れないで
いつ触られるの？

隊長になった時
ヴァンが私に
言った言葉覚えてる？

帰る場所にずっと
エルが待っていて
ほしいって

しっ

ヴァンのために
何度も見送って
待ってた
でも辛くなってきたの

決定的なことは
何も言わないし

良い子ちゃん
待ち続けるなんて
私には無理みたい

自分がこんな
寂しがりな
面倒な女なんて
知らなかった



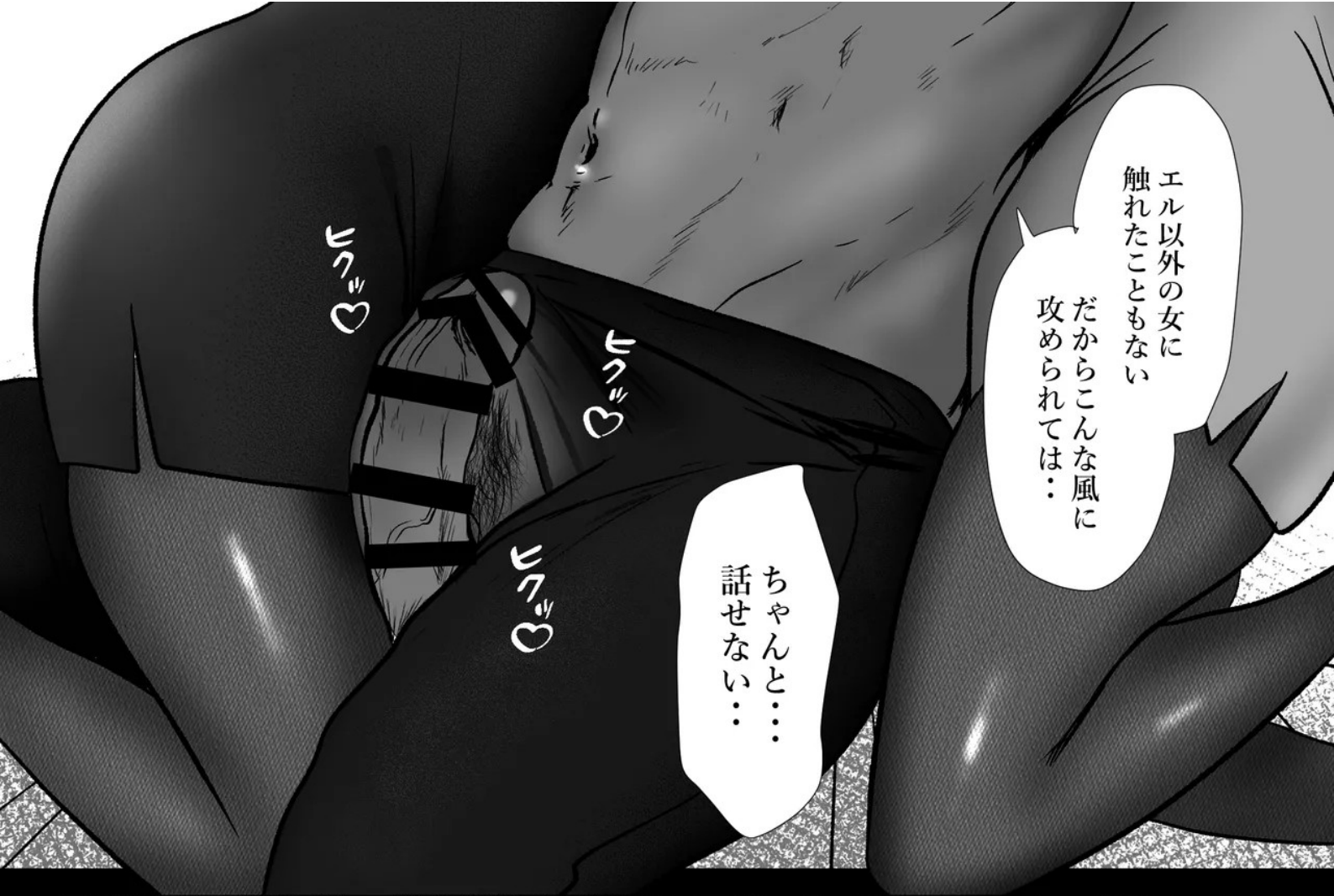
もしかしたら：

私以外に
待ってくれてる
女のところに
いってるのかな？

ち…ちが…

…いない
そんなの…
いるわけ…ない…

俺が好きなのは
小さい頃から
一人だけだ：



エル以外の女に
触れたこともない

だからこんな風に
攻められては：

ちやんと……
話せない……



エルの顔が
見れない……

その……
シリウスの話は……
受けて……欲しくない



一緒にいられる時間は
たしかに今は
少ない……けど

守りたいんだ
この国も人間も。
だから仕事は
譲れなくて……

エルのために
今の俺は
どうしたらいい？





これで…いいか…

ジュウ♡
クク♡



大きくなりすぎ…

本当に…
出しちゃった…



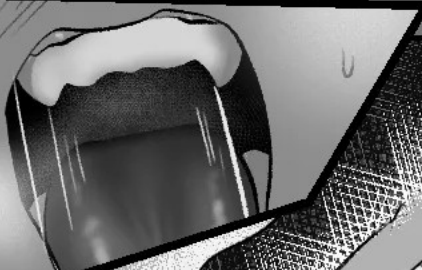
声、出していいよ♡



あー♡

あー?!♡

ねる♡







乳首だけで
射精するなんて

はあ...

はあ...

はあ...

はあ...

ヴァン...
すごい溜まってる
んだね...



相手してあげるよ?

なっ



エルの乳首が...

ずっと見たかった
エルの乳首が...



好きにしているよ
吸ってみる？

たぶん♡

俺は

っ?!

え……あ……う

大人……だから……

ハア

吸う必要など……ない

はず……

ああ……

でも……

なぜか吸いたい……!!

ぎこちない吸い方：
本当に初めてなんだ

えへへ・可愛いな

俺は一体……!!

ちゅっ

ちゅっ♡

ちゅっ

ちゅっ♡

下も：大変そうだから
偽物にお手伝い
してもらお？



レロキ
♡



なっ…
なにをっ…

エルの顔が：
俺のちんこに
くっついて：



童貞のヴァンは
フェラも知らないんだ？



そんな暴れたら
落ちちやうよ？

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

あっ？

あっ



ほら、上も
忘れないで？

アキヤ

♡♡♡

♡♡♡

アキヤ

アキヤ

そう、上手♡

がっつき過ぎるー！

快感と羞恥心で
頭がおかしく
なりそうだ。

エル……

れろ♡

れろ♡

える……

れろ♡

アキヤ

アキヤ

このまま任務に行かず
エルの膝の上で
寝ていたい……

またっ
こっ子

んっ♡

んっ

ん

♡ちゅ♡

♡ちゅ♡

♡ちゅ♡

♡ちゅ♡



また気持ちく
なっちゃうの？

ヴァンって
こっちも強いんだ

絶倫すぎて
びっくりだなあ



ヴァン...

あっ
あっ

あ
あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ

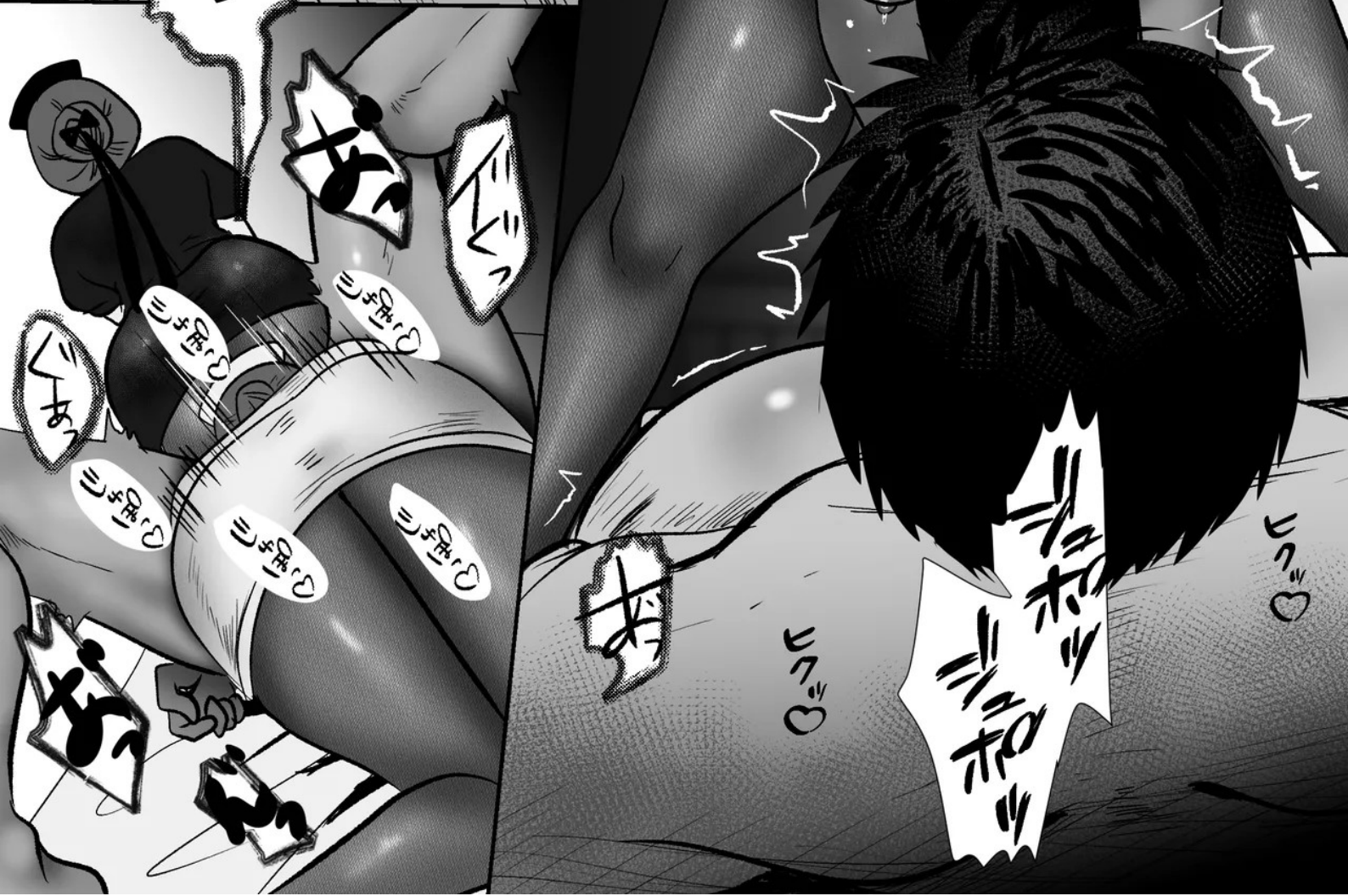
私の偽物の
フェラで

いっちゃうんだ？

見ててあげる
隊長の真っ赤ないき顔♡

み

るなっ



あ、また乳首硬く
なっちゃってるから

ほぐして
あげるね

やめっ!!

ヒクヒク♡

ヒクヒク♡

あく偽物の
お口でイっちゃった

浮気だぞ♡

あ

んお

わっ





下はお掃除
してもらお♡

ファーストキスは
本物の私に頂戴



いじめたい訳じゃ
ないはずなのに
大好きでお預けされて
いた分、やり返したい
みたいな気持ち



こんなことに
なっちゃってる
けど……

ヴァンってすごく
かっこいいんだよ

肉体も精神も本当に強くて
真っ直ぐ

今の立場も力も全部
努力で勝ち取った天才

いつだって
困っている人を
見捨てない

今は亡き友人を
山賊から
守るために片目を失い
顔に傷を残した

まぶしすぎる
皆のヒーローなのに



ヴァン、誰が好きなのか
ちゃんと教えて？

もう不安に
なりたくないよ

こんな顔にさせちゃって。。。ごめんね



えるっ

えるっ

んっ

んっ



んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

すまないっ

んあっ♡

俺が愛して
いるのはっ

え、エルだけだっ

だから...

お：れの
童貞を奪って
くれないか...

ヴァンの口から
びんな単語
出てくるなんて...

でも...

嫌、今は奪ってあげない

いっばい
焦らされた分

仕返しさせて





ムム

ムム



ムム



今日は
我慢する

私だって
早くヴァンと
エッチしたいんだけど

もし次回があるなら……

急遽また明日から
遠征に行くことになった

予定では
20日間程

……そっか
また離れ離れだね

なんだ。
仕方ないけど

私、耐えられる
自信ないよ

ヴァンにあそこまで
恥ずかしい思い
させたの……

一緒に来ないか

えっ？

道中、綺麗ではない
テントに泊まったり
焚火に当たって
眠るようなことがある

想像してない
魔物が現れる
可能性も0ではない

危険だ、それに
自分の立場を
このような私情に
使うのは気が引けるが：

エルが欲しい

汚い場所も
野宿だって
何てことないよ

そんな経験
何回もあったじゃない

近くにいれば
私がケガを治して
あげられる



え...ああ...
そ...そうだな



これでもっと
いっぱい
マッサージ、
できるね ♡



よろしく頼む...



だけど



絶対に俺にだけだ

絶対

普通の按摩も不可！

絶対

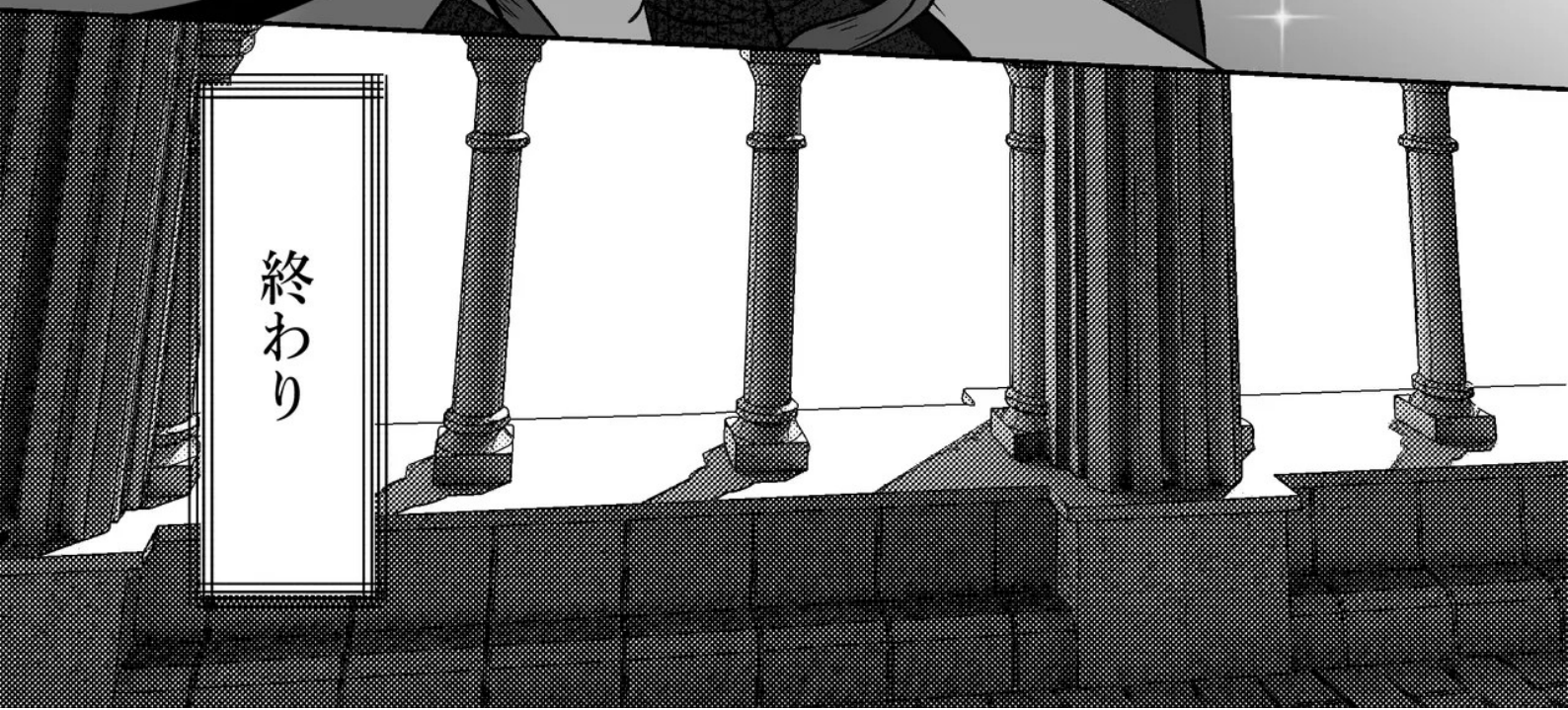
治療以外で男に
触れるな

いいな？

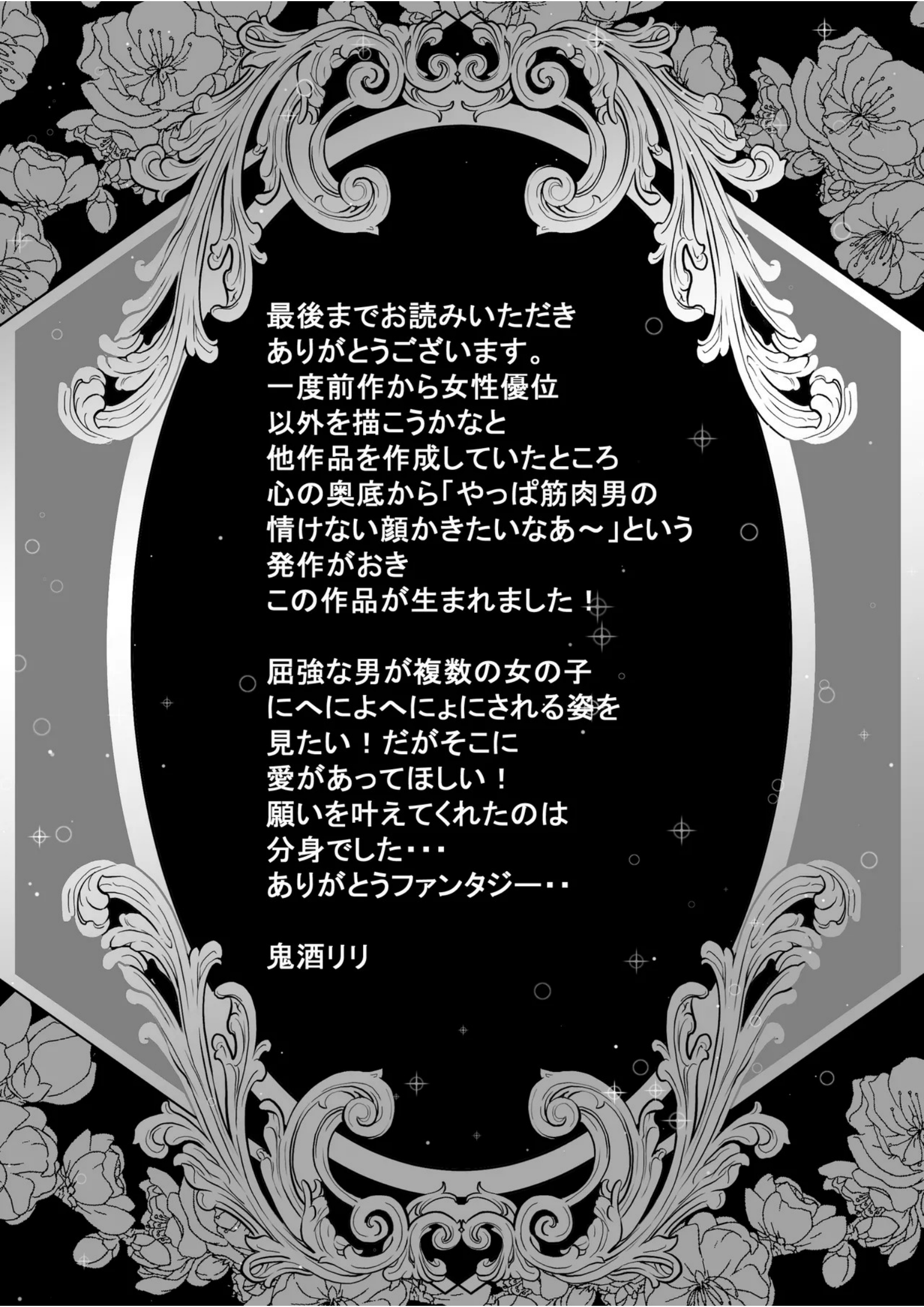
約束しろ
今ここで



わ、わかった



終わり



最後までお読みいただき
ありがとうございます。
一度前作から女性優位
以外を描こうかなと
他作品を作成していたところ
心の奥底から「やっぱり筋肉男の
情けない顔かきたいなあ〜」という
発作がおき
この作品が生まれました！

屈強な男が複数の女の子
にへによへによにされる姿を
見たい！だがそこに
愛があってほしい！
願いを叶えてくれたのは
分身でした…
ありがとうファンタジー…

鬼酒リリ